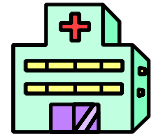




## 平成30年度 病院事業会計決算（見込）の概況



### ○ 決算見込みのポイント

◎病院事業全体（市立3病院計）の経常損益は、外来収益の増加などによる収益増、委託料の減少などによる費用の圧縮により、3億2,739万円の経常利益となりました。また、病院事業全体の純損益は、8億6,988万円の純利益となりました。

市立3病院の経営成績（税抜き）

（単位：円）

科目	川崎病院	井田病院	多摩病院	病院事業合計
総収益	21,209,206,251	9,994,359,708	1,951,829,437	33,155,395,396
医業収益	17,652,873,825	8,067,007,223	979,975,635	26,699,856,683
医業外収益	2,881,948,316	1,897,065,641	954,587,282	5,733,601,239
特別利益	674,384,110	30,286,844	17,266,520	721,937,474
総費用	20,019,365,003	10,467,419,376	1,798,733,839	32,285,518,218
医業費用	18,985,605,044	9,911,750,925	1,461,646,693	30,359,002,662
医業外費用	889,952,826	522,689,538	334,425,206	1,747,067,570
特別損失	143,807,133	32,978,913	2,661,940	179,447,986
経常損益	659,264,271	△ 470,367,599	138,491,018	327,387,690
純損益	1,189,841,248	△ 473,059,668	153,095,598	869,877,178

### ○ 業務状況

病院事業においては、従来にも増して医療の質の向上と経営基盤の強化を図るとともに、平成28年3月に策定した「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」に基づき、更なる経営改革に取り組んでいるところです。

◎川崎病院では、急性期における高度な医療機能を持つ市の基幹病院としての医療需要に応えるため、救命救急センターや地域周産期母子医療センターの安定的な運営に努めるとともに、神奈川県がん診療連携指定病院としての機能を強化するため、川崎南部保健医療圏で初となるPET-CT装置を導入し、平成30年4月から運用を開始しました。また、入退院又は転院時におけるよりきめ細やかな相談支援体制を構築するため、平成30年4月に新たに「患者総合サポートセンター」を開設しました。

◎井田病院では、市南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、緩和ケア医療を担うほか、市内唯一の結核病床を有する病院として、結核患者への透析の対応も行うなど、地域医療水準の向上に寄与しています。平成30年度は、地域包括ケア病棟において、入院患者の在宅復帰に向けたリハビリテーション医療の提供や療養指導等を充実したほか、院内の退院支援部門と在宅ケア部門を統合し、地域医療連携の強化や退院支援の早期介入・質の向上を図りました。

◎多摩病院では、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー医療などを提供するとともに、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、市北部地域の中核病院としての役割を果たしました。

## ○ 患者状況・診療収益状況

- ◎川崎病院では、入院は平均入院日数の減少などにより患者延人数が減少しました。外来は逆紹介患者の増加など地域医療連携の取組を推進していることなどにより患者延人数が減少しました。
- ◎井田病院では、入院は患者実人数は増加したものの、結核患者の減少により患者延人数は減少しました。外来は紹介患者数の増加など地域医療連携の取組みを推進していることなどにより患者延人数が増加しました。

	入院患者延人数	外来患者延人数
川崎病院	185,645人（8,178人減）	327,508人（7,097人減）
井田病院	110,182人（519人減）	159,617人（1,584人増）
多摩病院	112,355人（1,441人減）	217,333人（1,147人増）

	入院患者実人数	1人平均入院日数
川崎病院	14,624人（378人減）	12.7日（0.2日減）
井田病院	6,237人（51人増）	17.7日（0.2日減）
多摩病院	10,132人（53人増）	11.1日（0.2日減）

	入院収益（税抜き）	外来収益（税抜き）
川崎病院	116億9,166万円（1億4,213万円減）	46億1,285万円（1億9,403万円増）
井田病院	49億4,801万円（1,793万円減）	25億8,103万円（1億5,470万円増）
多摩病院	64億5,629万円（1億5,842万円増）	29億4,475万円（1億7,328万円増）

## ○ 主な建設改良

- ◎川崎病院では手術室系統の空気調和設備更新整備等を行い、井田病院では斜面防護等整備工事を実施しました。
- ◎医療器械は、川崎病院では採血準備トータルシステム等の整備を行い、井田病院では磁気共鳴画像診断装置（MR装置）等の整備を行いました。

【問合せ先】 川崎市 病院局 経営企画室 経理担当 田中  
電話 044-200-3855

平成30年度 病院事業会計決算（見込）のポイント（税抜き）

<病院事業全体>

			平成30年度決算 (見込)	平成29年度決算	増 △減額	増 △減率	備 考
1 収益的収入			331億5,500万円	326億2,100万円	5億3,400万円	1.6%	
主な 収入	入院収益	166億4,000万円	168億円	△1億6,000万円	△1.0%	患者延数の減少による川崎病院、井田病院の減	
	外来収益	71億9,400万円	68億4,500万円	3億4,900万円	5.1%	診療単価の増加による川崎病院、井田病院の増	
	他会計繰入金	60億 500万円	57億 100万円	3億 400万円	5.3%		
2 収益的支出			322億8,500万円	326億3,900万円	△3億5,400万円	△1.1%	
主な 支出	給与費	145億円	147億2,500万円	△2億2,500万円	△1.5%		
3 経常損益			3億2,700万円	△4億7,200万円	7億9,900万円	169.3%	
内訳	川崎病院	6億5,900万円	5億6,800万円	9,100万円	16.0%		
	井田病院	△4億7,000万円	△11億4,600万円	6億7,600万円	59.0%		
	多摩病院	1億3,800万円	1億 600万円	3,200万円	30.2%		
4 純損益			8億7,000万円	△1,800万円	8億8,800万円	4,933.3%	
内訳	川崎病院	11億9,000万円	10億5,000万円	1億4,000万円	13.3%		
	井田病院	△4億7,300万円	△11億8,600万円	7億1,300万円	60.1%		
	多摩病院	1億5,300万円	1億1,800万円	3,500万円	29.7%		

(注) 増△減率が正の場合、収支は改善している。負の場合、収支は悪化している。

5 資金不足比率	— (資金不足となっていない)	— (資金不足となっていない)			参考：財政健全化法における経営健全化基準 20%
----------	--------------------	--------------------	--	--	--------------------------

※ 金額については百万円未満を四捨五入（一部、端数調整有り）

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入

平成30年度 川崎市病院事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	税抜処理後純損益	前年度繰越損益	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処理損益
病院事業会計	予 算 現 額	34,823,698,000	34,646,920,000	176,778,000	—	—	—	—
	決 算 額	33,287,369,011	32,394,974,826	892,394,185	869,877,178	△ 26,854,784,068	—	△ 25,984,906,890
	執 行 率	95.6	93.5	—	—	—	—	—

(資本的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	補 て ん 財 源 等				再 差 引	備 考
					繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前 年 度 財源充当額	そ の 他		
病院事業会計	予 算 現 額	3,194,704,000	5,072,208,000	△ 1,877,504,000	—	1,870,595,000	—	6,909,000	—	
	決 算 額	2,523,387,000	4,439,827,186	△ 1,916,440,186	—	1,913,202,594	—	3,237,592	—	
	執 行 率	79.0	87.5	—	—	—	—	—	—	